



Tokyo Tech

2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜 (2023年10月版)

2023年10月 東京工業大学



目次

- 東京医科歯科大学との統合による入試などへの影響 (p.3-)
- 総合型・学校推薦型選抜の内容変更 (p.5)
- 総合型・学校推薦型選抜の女子枠の導入 (p.6-)
- 学院ごとの新しい総合型・学校推薦型選抜 (p.14-)
- 更新履歴 (p.30-)
 - 本資料公開前の資料である「2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜（2023年4月版）」及びその前の資料「総合型・学校推薦型選抜で143人の『女子枠』を導入」（2022年11月公開）から本資料の更新履歴を示す。



東京医科歯科大学との統合による入試などへの影響（1）



東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し、1法人1大学とすることについて、2022年10月14日に基本合意書を締結しました。

2024年度中を目途に、東京工業大学は東京医科歯科大学と統合し、「**東京科学大学（仮称）**」に生まれ変わります。

統合日

- 統合日は決まっていますが、**2024年度の秋を想定**しています。ただし、国立大学の統合は法改正を経る必要があるため、あくまでも想定です。また、**統合日をもって新大学に移行**します。

新大学の教育

- 新大学への移行時には、両大学に設置していた**学位・教育課程および収容定員については変更しません**。これらの変更については、新大学に移行後に検討します。



統合日以降の学生身分

- 統合日以前に入学した学生は、統合日前日までは現大学の学生ですが、**統合日に全学生が新大学の学生になります。**
- 統合日が仮に秋入学時期以前であれば、秋入学の学生が最初の新大学の新生となります。

卒業や修了の扱い

- **統合日以降の学士課程卒業や大学院課程修了は、新大学の卒業や修了**となります。
- したがって新大学の名称で学位記を発行することになります。
- ただし、現大学の名称についても何らかの記載ができる方向で検討しています。

入学者選抜試験

- **新大学当初は、現大学と同等の入学者選抜試験を実施**します。
- 入学者選抜試験の方法等を変更する場合は速やかに周知します。
- 特に学士課程の入学者選抜試験において入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす変更がある場合は2年程度前に周知します。

総合型・学校推薦型選抜の内容変更

- 2024年4月入学の入試より、学院ごとに総合型・学校推薦型選抜の内容の変更を行います。
- 女性を対象である「女子枠」を導入し、性別によらずに出願できる従来の区分を「一般枠」とします。
- 「一般枠」についても、学院によっては、募集人員や選抜方法など、従来から大幅な変更があります。
- 2025年4月入学の入試より、共通テストの教科「情報」を利用します。



東工大は、 2024年4月入学の入試から、 総合型・学校推薦型選抜に 「女子枠」を導入します

これにより、女性が活躍できる
D&Iが浸透した社会の形成・発展に貢献します



女子枠の導入

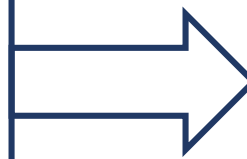
東工大は、2024年4月入学の入試から、「女子枠」を導入します

2024年度入試から2025年度入試にかけて、
総合型選抜・学校推薦型選抜に
合計143人の女子枠を導入

入学者の女性比率

現在

学士課程全体で約13%



導入後（見込み）

学士課程全体で20%以上



目指すこと

- 本学の学修環境を多様性のある理想的なものに近づけます。
- より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出します。

さらに

- これを起点に波紋が広がり、本学だけでなく社会全体に、真に多様性を受容する環境が育つことを期待します。

一般選抜（前期日程）

- 方式：全学共通入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、調査書

➡ 学力検査中心の選抜

総合型・学校推薦型選抜※

- 方式：学院別入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、面接、調査書など（学院ごとに異なる）

➡ 学力検査に加え、面接や多種の書類を含む、より丁寧で多面的・総合的な選抜

※ 総合型選抜：旧AO入試のこと
学校推薦型選抜：旧推薦入試のこと

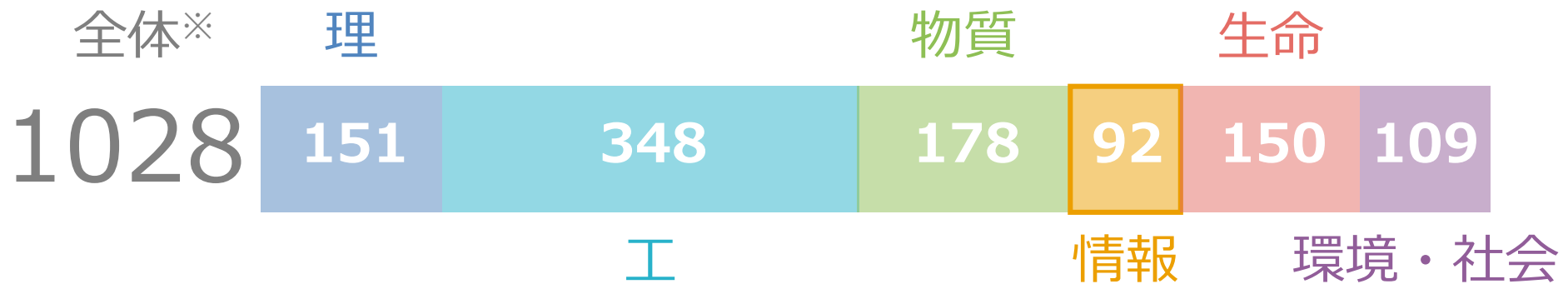
「一般枠」「女子枠」を導入



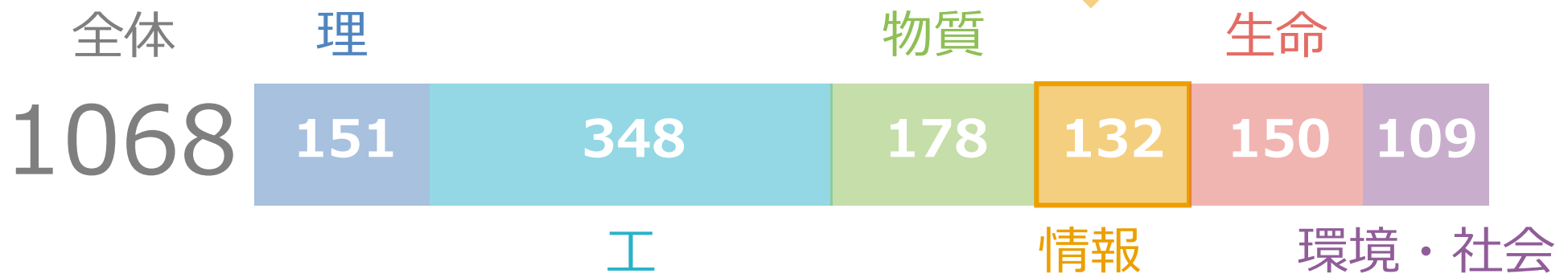
全体の募集人数はどう変わる？

情報理工学院の募集人数が40人増加します。

2023年4月入学のための入試まで



2024年4月入学のための入試から



※ 本資料では、一般選抜（前期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜の合計の募集人数をもって「全体」としています。



学士課程の総合型・学校推薦型選抜を大幅に拡大します



一般選抜（前期日程）

総合型・学校推薦型

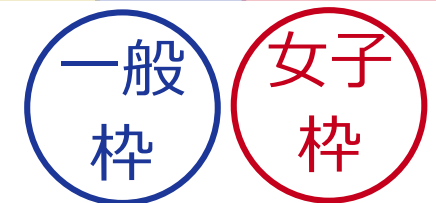
2023年4月入学の
ための入試まで



2024年4月入学の
ための入試



2025年4月入学の
ための入試から



「一般枠」と「女子枠」に区分し、 女子枠で143人を募集します



新たに設置した女子枠とは？

- 女性を対象となります。
- 提出する出願書類など新たな評価軸を追加します。
- 女子枠の数や選抜方法は学院ごとに異なります。
- 基礎学力が基準に達している志願者が募集人員に満たなければ、合格者は募集人員より少なくなります。

学院ごとの募集人員

 : 一般枠と女子枠の併願ができる。両枠とも合格の時は女子枠として合格。
 : 一般枠と女子枠の併願ができない。

総合型・学校推薦型選抜において、選考の結果、期待する水準に達する者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加える。

| | 学院 | 2023年 4月入学 | 2024年4月入学 | | | 2025年4月 入学以降 | |
|----------------|-----------|---------------|-------------|-----|-----|-----------------|------|
| | | 変更前 | 変更前 一般枠※ | 一般枠 | 女子枠 | 一般枠 | 女子枠 |
| 一般選抜 (前期日程) | 全学院 | 930人 | 892人 | | | 824人 | |
| 総合型選抜 | 理学院 | | | | | 8人 | 15人 |
| | 工学院 | 34人 | 34人 | | | 17人 | 70人 |
| | 物質理工学院 | 18人 | | 20人 | 20人 | 20人 | 20人 |
| | 情報理工学院 | 6人程度 | | 6人 | 14人 | 6人 | 14人 |
| | 生命理工学院 | 15人 | | 15人 | | 15人 | |
| | 環境・社会理工学院 | 17人 | | 20人 | 9人 | 20人 | 9人 |
| 学校推薦型選抜 | 理学院 | 8人 | 8人 | | | | |
| | 生命理工学院 | | | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| | 合計 | 98人 | 118人 | 58人 | | 101人 | 143人 |

※ 2024年4月入学の工学院の総合型選抜と理学院の学校推薦型選抜は2023年4月入学と同じ選抜。

2024年4月入学まで

2025年4月入学から

一般選抜 143人
学校推薦型（一般枠） 8人



一般選抜 128人
新設 総合型（一般枠） 8人
新設 総合型（女子枠） 15人

一般枠と女子枠の併願不可

- 学院内の多様性を広げるため学校推薦型を廃止し、その趣旨を継承した総合型の一般枠を新設
- 一般枠では、理学における傑出した能力を示す活動実績を評価
- 一般枠では出願時に希望した系に所属することが可能
- 女子枠では、理学を学ぶために必要な基礎学力と、理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。

2024年4月入学まで

募集人員：8人

それぞれの高校は2名まで推薦可能（以下の要件3については人数制限なし）

推薦要件

以下のいずれか

1. 理学に関連した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれを発表した者
2. 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げた者
3. 数学、物理、化学、地学のいずれかの国際科学オリンピックの日本代表。または国内予選で優秀な成績を収めた者

主な出願書類

- 研究内容の要約（要件1か2の場合のみ）

選抜方法

- 共通テストの成績、推薦書、研究内容の要約、並びにその他の出願書類を総合的に評価し、合格者を決定

新規 2025年4月入学から

一般枠：8人

第1段階選抜 約1.5倍を上限とする

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- 共通テストの成績により、基礎学力を判定する。
- 活動実績報告書の内容を重視する。

第2段階選抜

面接（100点）

志望者の活動実績報告書※に関する質疑応答に基づき、理学に対する適性・素養・説明能力を評価する。

※ 活動実績の例

- 授業科目の一環として実施した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれを取りまとめて発表
- 理学に関連した研究を、主導的な役割を担って行い優れた成果を挙げ、それを取りまとめて複数の所属組織からの参加者がいる研究会などで研究発表
- 国際科学オリンピック、その国内予選相当の大会に出場し優秀な成績

女子枠：15人

第1段階選抜（約1.5倍を超えた場合行う）

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

第2段階選抜

学力評価（90点）

数学（「数学III」を主な出題範囲とする筆記試験。30点）

物理（共通テストの結果で代用する。30点）

化学（共通テストの結果で代用する。30点）

面接（10点）

理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。

募集人員 348人

2024年4月入学まで

| | |
|------|------|
| 一般選抜 | 314人 |
| 総合型 | 34人 |



2025年4月入学から

| | |
|----------------------------|------|
| 一般選抜 | 261人 |
| <small>新設</small> 総合型（一般枠） | 17人 |
| <small>新設</small> 総合型（女子枠） | 70人 |

一般枠と女子枠の併願不可

- これまでの総合型を廃止し、一般枠と女子枠を新設
- 一般枠、女子枠ともに筆記試験は行わず、面接で物理や数学に関する能力を評価
- 一般枠では、加えてこれまでの授業や自主的な学習、国際経験等を通して最も興味を持った理数系トピックを踏まえて工学院で学びたいことを問う
- 女子枠では、「女性活躍社会に貢献するために工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を問う



工学院の現在の総合型

2024年4月入学まで

募集人員：34人

第1段階選抜（約2～3倍を超えた場合行う）

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

第2段階選抜

筆記

数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設問により、論理的な思考力、解決力および記述力を評価する。

面接

工学分野に対する志望動機、与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

工学院の新しい総合型

新規 2025年4月入学から

一般枠：17人

第1段階選抜（約1.5倍を超えた場合行う）

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

一般枠では数学、理科、外国語のみを1.5倍に換算し合計する。

理科2科目の選択に「物理」を必ず含めること。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

これまでの授業や自主的な学習、国際経験等を通して最も興味を持った理数系トピックを踏まえて工学院で学びたいことを含めた志望動機、並びに与えられた物理や数学（数学Ⅲを含む。）のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

女子枠：70人

第1段階選抜（約1.5倍を超えた場合行う）

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

女子枠ではすべての科目を素点のまま合計する。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

女性活躍社会に貢献するために工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機、与えられた物理や数学（数学Ⅲを含む。）のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

※ 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために東京工業大学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載。

共通テスト（100点）

得点合計で評価



2024年4月入学から

募集人員 178人

一般選抜 138人 (22減)

変更 総合型 (一般枠) 20人 (2増)

新設 総合型 (女子枠) 20人 (20増)

一般枠と女子枠の併願可

- 女子枠の総合型選抜を開始
- 筆記試験は行わず、共通テストを利用。理科と外国語を重視
- 面接では、女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価



物質理工学院の新しい総合型



2024年4月入学から

一般枠：20人、女子枠：20人

女子枠では、科学的センスと世界展開の可能性を有した女性の入学を期待しているため、一般枠と配点が異なる

変更

第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う) 従来は約2~3倍

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

一般枠ではすべての科目を素点のまま合計し、女子枠では理科と外国語のみを1.5倍に換算し合計する。

第2段階選抜

総合問題 (面接)

一般枠 科学的な知識および考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。

女子枠 科学的な知識および考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。

また、女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために物質理工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

変更点

共通テスト

一般枠ではすべての科目を等倍で換算し、女子枠では理科と外国語のみを1.5倍に換算する。

従来は総合問題の筆記として個別試験を課していたものを廃止し、共通テストを利用

第2段階選抜では一般枠・女子枠ともに総合問題 (面接) と共通テストを等しい重みの配点とする 21

募集人員 132人 (40増) 2024年4月入学から

一般選抜 112人 (26増)

継続 総合型 (一般枠) 6人 (±0)

新設 総合型 (女子枠) 14人 (14増)

一般枠と女子枠の併願可

- 全体の募集人員を増加
- 女子枠の総合型選抜を開始
- 活動実績報告書を提出
- 女子枠の面接では、ダイバーシティ社会で躍進するために情報理工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力の評価も加える

一般枠：6人、女子枠：14人

2024年4月入学から

変更点

変更点

第1段階選抜 一般枠は約2倍を、女子枠は約1.5倍を上限とする 従来は約2～3倍

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- 枠による違いなし
- 活動実績報告書の内容を重視。
- 共通テストの成績は、基礎学力の判定のために用い、概ね720点以上の得点かどうかで判断する。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

- 面接内容が一般枠と女子枠で異なる
- 女子枠では以下を追加

ダイバーシティ社会で躍進するために情報理工学院で学びたいことおよび自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価

2024年4月入学から

募集人員 150人

| | | |
|----|-------------|-----------|
| | 一般選抜 | 105人(30減) |
| 変更 | 総合型 (一般枠) | 15人 (±0) |
| 新設 | 学校推薦型 (一般枠) | 15人(15増) |
| 新設 | 学校推薦型 (女子枠) | 15人(15増) |

学校推薦型について一般枠と女子枠の併願可

- 一般枠と女子枠からなる学校推薦型を開始
- 女子枠志願者は「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容を記載した「学修計画書」を提出



生命理工学院の新しい総合型



一般枠のみ：15人

2024年4月入学から

第1段階選抜 変更点 (約2倍を超えた場合行う) 従来は約2~3倍

共通テスト(得点合計)と出願書類で選抜を行う

第2段階選抜

総合問題(100点)

筆記 生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力および記述力を評価する。

面接 生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力および適性を評価する。

変更点

共通テスト(50点) 従来用いていなかった共通テストが第2段階選抜の評価に加わる

数学を20点、理科を20点、外国語を10点に換算

(2025年4月入学からは、上記に情報を10点に換算したものを加え、配点を60点とする)

生命理工学院の学校推薦型（新規）

一般枠：15人、女子枠：15人

2024年4月入学から

新規 それぞれの高校は一般枠と女子枠を合わせて2人まで推薦可能

推薦要件

- 生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し、学習成績・人物ともに特に優れる者
- 指定する共通テストの教科・科目を受験している者
- 数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cのすべてを履修、または履修見込みの者（※数学Cについては2025年度入試以降）
- 理科（生物、物理、化学）のうち2科目以上を履修している者

出願書類

- 志望理由書
- 【女子枠のみ】学修計画書：「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容

推薦書類記載事項

- 3か年にわたる各学年での学年全体での成績順位（何人中何位）
- 志願者が推薦にふさわしい理由

【特記事項】

正規の授業科目の一環として実施した課題研究で主導的な役割、優れた成果

課外活動において実施した研究で主導的な役割、優れた成果

国際科学オリンピック等に日本代表、国際科学オリンピックの国内予選で優秀な成績

選抜方法

- 共通テストの成績、提出書類を総合的に評価し、合格者を決定
- 【女子枠のみ】学修計画書を評価対象に含める

2024年4月入学から

募集人員 109人

一般選抜 80人 (12減)

継続 総合型 (一般枠) 20人 (3増)

新設
総合型 (女子枠) 9人 (9増)

一般枠と女子枠の併願可

- 女子枠の総合型選抜を開始
- これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめた「活動実績報告書」を提出

2024年4月入学から

一般枠：20人

A 建築学系：8人、B 土木・環境工学系：6人、C 融合理工学系：6人

女子枠：9人

A 建築学系：3人、B 土木・環境工学系：3人、C 融合理工学系：3人

第1段階選抜

一般枠

共通テスト（得点合計）と出願書類（Cのみ）で選抜を行う

- A, B, Cいずれも^{変更点}約2倍を上限とする 従来は約2～3倍

女子枠

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- A, B, Cいずれも約2倍を上限とする

第2段階選抜

総合問題（100点）

A：造形課題

B：面接（筆記を含む）

C：面接

【女子枠のみ】

- 活動実績報告書

これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめたもの

- この資料は**2023年10月時点**の公表情報に基づいて作られています。
- 試験実施までに変更される可能性があります。必ず最新情報を参照してください。
- 最新情報は東工大高校生・受験生向けサイトに掲載されます。
- 入試に関する情報は、試験ごとに発行される募集要項が確定情報となります。

更新履歴 (2023年4月公開版から2023年10月版の更新)

- 以降には、本資料公開前の資料である、「2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜（2023年4月公開）」から本資料の更新履歴を示す。

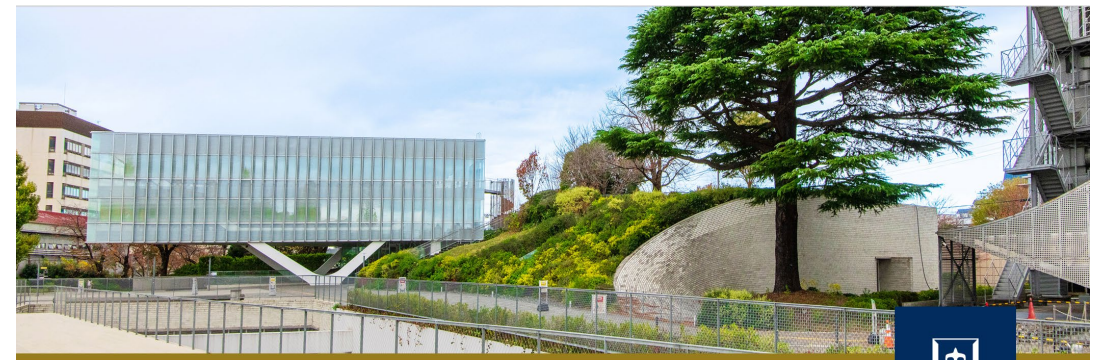
更新前



2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜
(2023年4月版)

2023年4月 東京工業大学

更新後



2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜
(2023年10月版)

2023年10月 東京工業大学

更新履歴 (p.2) (2023年4月公開版から2023年10月版の更新)

目次



- 東京医科歯科大学との統合による入試などへの影響 (p.3-)
- 総合型・学校推薦型選抜の内容変更 (p.5)
- 総合型・学校推薦型選抜の女子枠の導入 (p.6-)
- 学院ごとの新しい総合型・学校推薦型選抜 (p.14-)
- 更新履歴 (p.30-)
 - 本資料公開前の資料である、「総合型・学校推薦型選抜で143人の『女子枠』を導入」(2022年11月公開)から本資料の更新履歴を示す。

2

目次



- 東京医科歯科大学との統合による入試などへの影響 (p.3-)
- 総合型・学校推薦型選抜の内容変更 (p.5)
- 総合型・学校推薦型選抜の女子枠の導入 (p.6-)
- 学院ごとの新しい総合型・学校推薦型選抜 (p.14-)
- 更新履歴 (p.30-)
 - 本資料公開前の資料「2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜(2023年4月版)」、その前の資料「総合型・学校推薦型選抜で143人の『女子枠』を導入」(2022年11月公開)から本資料の更新履歴を示す。

2

- 改版に伴う目次修正

女子枠の導入



東工大は、2024年4月入学の入試から、「女子枠」を導入します

2024年度入試から2025年度入試にかけて、
総合型選抜・学校推薦型選抜に
合計143人の女子枠を導入

入学者の女性比率

現在 学士課程全体で約13% → 導入後(見込み) 学院それぞれで20%以上

7

女子枠の導入



東工大は、2024年4月入学の入試から、「女子枠」を導入します

2024年度入試から2025年度入試にかけて、
総合型選抜・学校推薦型選抜に
合計143人の女子枠を導入

入学者の女性比率

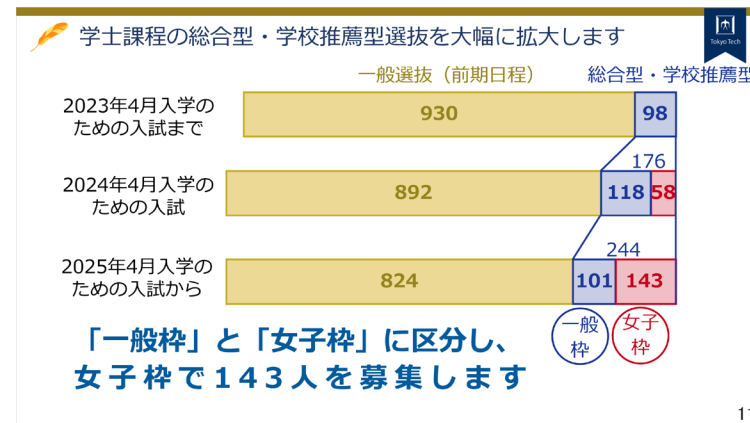
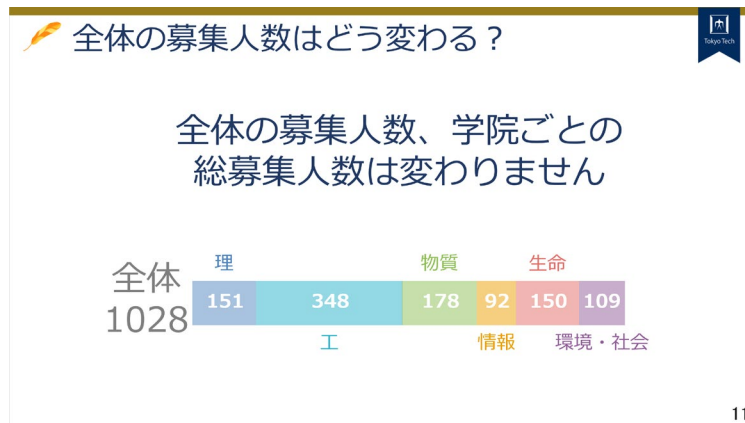
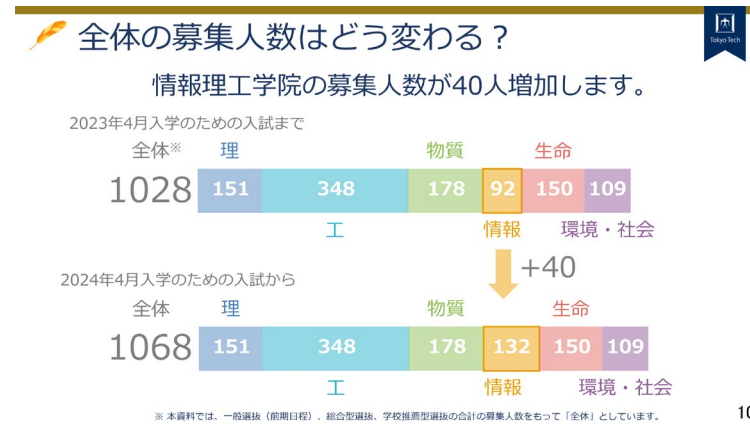
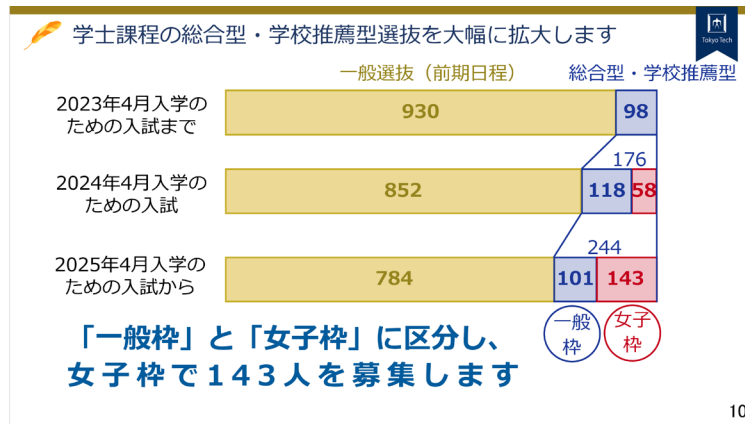
現在 学士課程全体で約13% → 導入後(見込み) 学士課程全体で20%以上

7

- 情報理工学院の定員増に伴う女性比率の見込み修正

更新履歴 (pp.10,11)

(2023年4月公開版から2023年10月版の更新)



- 情報理工学院の定員増に伴う全体の人数変更
- ページ入れ替え

更新履歴 (p.13)

(2023年4月公開版から2023年10月版の更新)

学院ごとの募集人員

 : 一般枠と女子枠の併用ができる。両枠とも合格の時は女子枠として合格。
 : 一般枠と女子枠の併用ができない。
 総合型・学校推薦型選抜において、選考の結果、期待する水準に達する者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加える。



| 学院 | | 2023年 4月入学 変更前 | 2024年4月入学 | | 2025年4月 入学以降 | | |
|----------------|-----------|----------------------|------------|-----|-----------------|-----|------|
| | | | 変更前 一般枠 | 女子枠 | 一般枠 | 女子枠 | |
| 一般選抜 (前期日程) | 全学院 | 930人 | 852人 | | 784人 | | |
| 総合型選抜 | 理学院 | | | | 8人 | 15人 | |
| | 工学院 | 34人 | 34人 | | | 17人 | 70人 |
| | 物質理工学院 | 18人 | | 20人 | 20人 | 20人 | 20人 |
| | 情報理工学院 | 6人程度 | | 6人 | 14人 | 6人 | 14人 |
| | 生命理工学院 | 15人 | | 15人 | | 15人 | |
| | 環境・社会理工学院 | 17人 | | 20人 | 9人 | 20人 | 9人 |
| 学校推薦型選抜 | 理学院 | 8人 | 8人 | | | | |
| | 生命理工学院 | | | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| | 合計 | 98人 | 118人 | | 58人 | | |
| | | | | | 101人 | | 143人 |

※ 2024年4月入学の工学院の総合型選抜と理学院の学校推薦型選抜は2023年4月入学と同じ選抜。

13

学院ごとの募集人員

 : 一般枠と女子枠の併用ができる。両枠とも合格の時は女子枠として合格。
 : 一般枠と女子枠の併用ができない。
 総合型・学校推薦型選抜において、選考の結果、期待する水準に達する者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加える。



| 学院 | | 2023年 4月入学 変更前 | 2024年4月入学 | | 2025年4月 入学以降 | | |
|----------------|-----------|----------------------|------------|-----|-----------------|-----|------|
| | | | 変更前 一般枠 | 女子枠 | 一般枠 | 女子枠 | |
| 一般選抜 (前期日程) | 全学院 | 930人 | 892人 | | 824人 | | |
| 総合型選抜 | 理学院 | | | | 8人 | 15人 | |
| | 工学院 | 34人 | 34人 | | | 17人 | 70人 |
| | 物質理工学院 | 18人 | | 20人 | 20人 | 20人 | 20人 |
| | 情報理工学院 | 6人程度 | | 6人 | 14人 | 6人 | 14人 |
| | 生命理工学院 | 15人 | | 15人 | | 15人 | |
| | 環境・社会理工学院 | 17人 | | 20人 | 9人 | 20人 | 9人 |
| 学校推薦型選抜 | 理学院 | 8人 | 8人 | | | | |
| | 生命理工学院 | | | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| | 合計 | 98人 | 118人 | | 58人 | | |
| | | | | | 101人 | | 143人 |

※ 2024年4月入学の工学院の総合型選抜と理学院の学校推薦型選抜は2023年4月入学と同じ選抜。

13

- 情報理工学院の定員増に伴う全学院の人数変更

更新履歴 (p.14)

(2023年4月公開版から2023年10月版の更新)




- 学院内の多様性を広げるため学校推薦型を廃止し、その趣旨を継承した総合型の一般枠を新設
- 一般枠では、理学における傑出した能力を示す活動実績を評価
- 一般枠では出願時に希望した系に所属することが可能
- 女子枠では、理学を学ぶために必要な基礎学力と論理的思考力、およびそれらを表現する能力などを評価する



- 学院内の多様性を広げるため学校推薦型を廃止し、その趣旨を継承した総合型の一般枠を新設
- 一般枠では、理学における傑出した能力を示す活動実績を評価
- 一般枠では出願時に希望した系に所属することが可能
- 女子枠では、理学を学ぶために必要な基礎学力と、理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。

- 理学院の女子枠の評価に関する記述をより正確なものに修正

情報理工学院  2024年4月入学から


募集人員 92人

| | |
|--------------|-----------|
| 一般選抜 | 72人 (14減) |
| 継続 総合型 (一般枠) | 6人 (±0) |
| 新設 総合型 (女子枠) | 14人 (14増) |

一般枠と女子枠の併願可

- 女子枠の総合型選抜を開始
- 活動実績報告書を提出
- 女子枠の面接では、女性活躍社会に貢献するために情報理工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力の評価も加える

22

情報理工学院  2024年4月入学から

募集人員 132人 (40増)

| | |
|--------------|------------|
| 一般選抜 | 112人 (26増) |
| 継続 総合型 (一般枠) | 6人 (±0) |
| 新設 総合型 (女子枠) | 14人 (14増) |

一般枠と女子枠の併願可

- 全体の募集人員を増加
- 女子枠の総合型選抜を開始
- 活動実績報告書を提出
- 女子枠の面接では、ダイバーシティ社会で躍進するために情報理工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力の評価も加える

22

- 情報理工学院の定員増に伴う記述の変更
- 女子枠の面接内容について変更を反映

情報理工学院の新しい総合型

一般枠：6人、女子枠：14人

2024年4月入学から



第1段階選抜 一般枠は約2倍を、女子枠は約1.5倍を上限とする 従来は約2~3倍

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- 枠による違いなし
- 活動実績報告書の内容を重視。
- 共通テストの成績は、基礎学力の判定のために用い、概ね650点以上（2024年4月入学の点数。共通テストの「情報」科目導入以後は720点以上）の得点かどうかで判断する。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

- 面接内容が一般枠と女子枠で異なる
- 女子枠では以下を追加

女性活躍社会に貢献するために情報理工学院で学びたいことおよび自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価

23

情報理工学院の新しい総合型

一般枠：6人、女子枠：14人

2024年4月入学から



第1段階選抜 一般枠は約2倍を、女子枠は約1.5倍を上限とする 従来は約2~3倍

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- 枠による違いなし
- 活動実績報告書の内容を重視。
- 共通テストの成績は、基礎学力の判定のために用い、概ね720点以上の得点かどうかで判断する。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

- 面接内容が一般枠と女子枠で異なる
- 女子枠では以下を追加

ダイバーシティ社会で躍進するために情報理工学院で学びたいことおよび自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価

23

- 第1段階選抜について変更を反映
- 女子枠の面接内容について変更を反映

環境・社会理工学院の新しい総合型



一般枠：20人 2024年4月入学から
A 建築学系：8人、B 土木・環境工学系：6人、C 融合理工学系：6人
女子枠：9人
A 建築学系：3人、B 土木・環境工学系：3人、C 融合理工学系：3人

第1段階選抜

一般枠

共通テスト（得点合計）と出願書類（Cのみ）で選抜を行う

- Aは^{変更点}上位19人程度、Bは^{変更点}上位15人程度、Cは^{変更点}上位15人程度を上限とする 従来は約2～3倍

女子枠

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- A, B, Cいずれも上位6人程度を上限とする

第2段階選抜

総合問題（100点）

- A：造形課題
- B：面接（筆記を含む）
- C：面接

【女子枠のみ】

- 活動実績報告書
これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめたもの

28

環境・社会理工学院の新しい総合型



一般枠：20人 2024年4月入学から
A 建築学系：8人、B 土木・環境工学系：6人、C 融合理工学系：6人
女子枠：9人
A 建築学系：3人、B 土木・環境工学系：3人、C 融合理工学系：3人

第1段階選抜

一般枠

共通テスト（得点合計）と出願書類（Cのみ）で選抜を行う

- A, B, Cいずれも^{変更点}約2倍を上限とする 従来は約2～3倍

女子枠

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- A, B, Cいずれも約2倍を上限とする

第2段階選抜

総合問題（100点）

- A：造形課題
- B：面接（筆記を含む）
- C：面接

【女子枠のみ】

- 活動実績報告書
これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめたもの

28

- 第1段階選抜について変更を反映

注意事項



- この資料は**2023年4月時点**の公表情報に基づいて作られています。
- 試験実施までに変更される可能性があります。必ず最新情報を参照してください。
- 最新情報は東工大高校生・受験生向けサイトに掲載されます。
- 入試に関する情報は、試験ごとに発行される募集要項が確定情報となります。

29

注意事項



- この資料は**2023年10月時点**の公表情報に基づいて作られています。
- 試験実施までに変更される可能性があります。必ず最新情報を参照してください。
- 最新情報は東工大高校生・受験生向けサイトに掲載されます。
- 入試に関する情報は、試験ごとに発行される募集要項が確定情報となります。

29

- 改版に伴う修正

更新履歴 (2022年11月公開版から2023年4月版の更新)

- 以降には、本資料の2版前の資料である、「総合型・学校推薦型選抜で143人の『女子枠』を導入」（2022年11月公開）から本資料の更新履歴を示す。

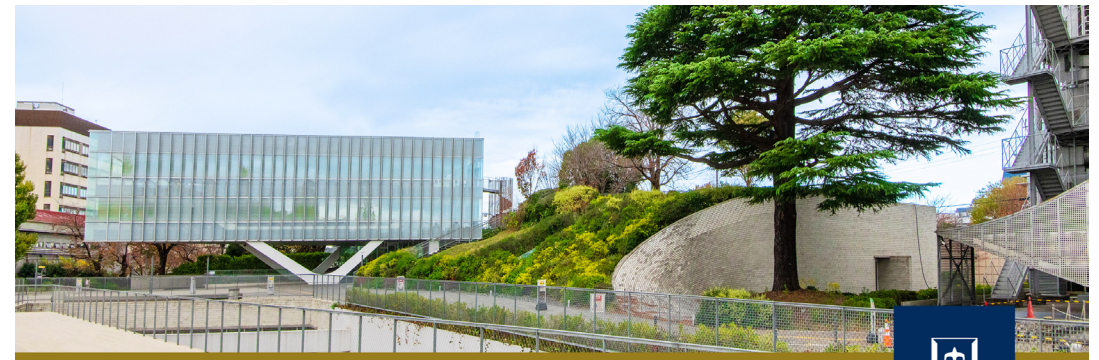
更新前



総合型・学校推薦型選抜で143人の「女子枠」を導入
2024年4月入学対象（令和6年度入試）から順次実施

2022年11月 東京工業大学

更新後



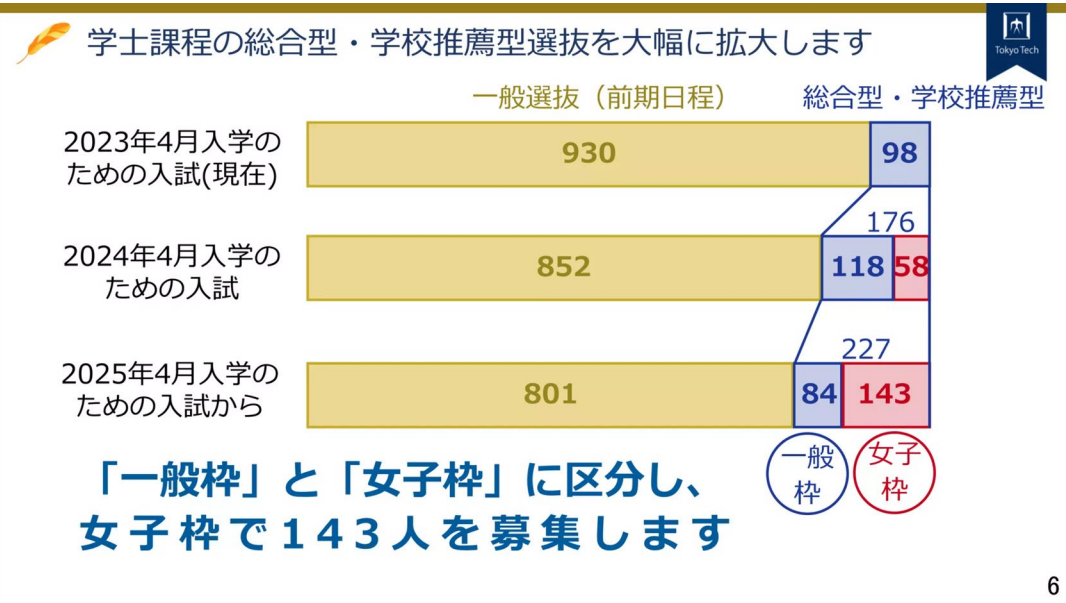
2024年4月以降の入学対象の総合型・学校推薦型選抜
(2023年4月版)

2023年4月 東京工業大学

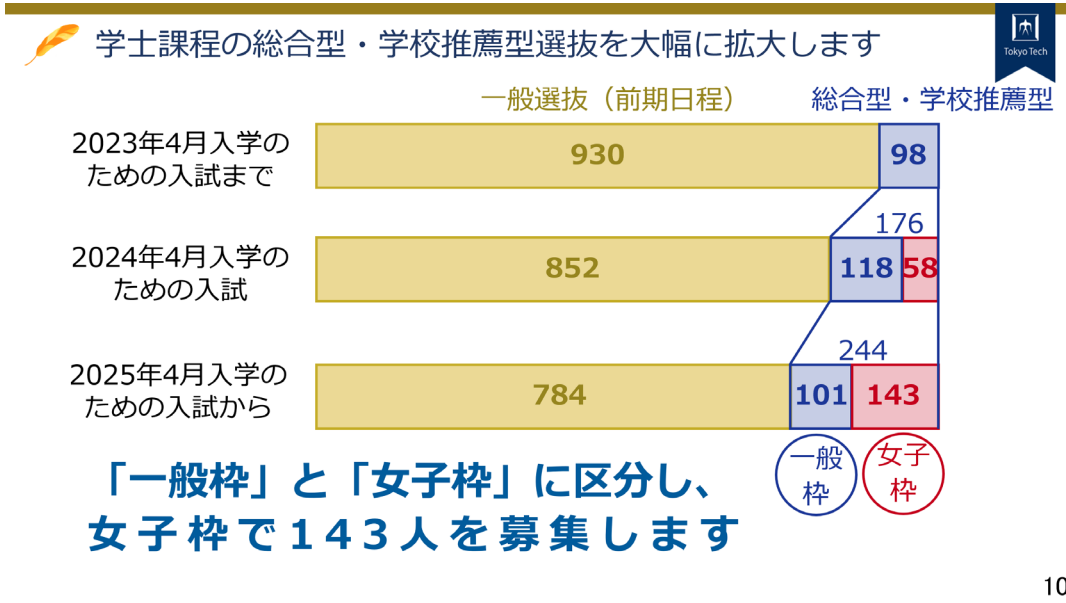
更新履歴 (p.10)

(2022年11月公開版から2023年4月版の更新)

更新前



更新後



- 理学院・工学院への一般枠追加に伴いグラフを修正

更新前

新たに設置した女子枠とは？



- 女性が対象となります
- 提出する書類など新たな評価軸を追加します
- 女子枠の数や選抜方法は学院ごとに異なります
- 女子枠への出願者は一般枠に併願することもできます
- 一般枠と女子枠を併願する場合、各枠で判定した結果、両方合格であれば女子枠としての合格となります

8

- 併願に関する記述の変更
- 4項目目の追記

更新後

新たに設置した女子枠とは？



- 女性が対象となります。
- 提出する書類など新たな評価軸を追加します。
- 女子枠の数や選抜方法は学院ごとに異なります。
- 基礎学力が基準に達している志願者が募集人員に満たなければ、合格者は募集人員より少なくなります。

12

更新履歴 (p.13)

(2022年11月公開版から2023年4月版の更新)



更新前

更新後

学院ごとの募集人員

| | 学院 | 募集人員 | | | 導入時期 |
|---------|-----------|------|-----|------|-----------|
| | | 現行 | 一般枠 | 女子枠 | |
| 総合型選抜 | 理学院 | — | — | 15人 | 2025年4月入学 |
| | 工学院 | 34人 | — | 70人 | |
| | 物質理工学院 | 18人 | 20人 | 20人 | 2024年4月入学 |
| | 情報理工学院 | 6人程度 | 6人 | 14人 | |
| | 生命理工学院 | 15人 | 15人 | — | |
| | 環境・社会理工学院 | 17人 | 20人 | 9人 | |
| 学校推薦型選抜 | 理学院 | 8人 | 8人 | — | 2024年4月入学 |
| | 生命理工学院 | — | 15人 | 15人 | |
| 全学合計 | | 98人 | 84人 | 143人 | |

9

学院ごとの募集人員

 : 一般枠と女子枠の併用ができる。両枠とも合格の時は女子枠として合格。
 : 一般枠と女子枠の併用ができない。
総合型・学校推薦型選抜において、選考の結果、期待する水準に達する者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加える。

| | 学院 | 2023年4月入学 | 2024年4月入学 | | | 2025年4月入学以降 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|-------------|------|
| | | 変更前 | 変更前一般枠 | 一般枠 | 女子枠 | 一般枠 | 女子枠 |
| 一般選抜(前期日程) | 全学院 | 930人 | 852人 | | | 784人 | |
| 総合型選抜 | 理学院 | | | | | 8人 | 15人 |
| | 工学院 | 34人 | 34人 | | | 17人 | 70人 |
| | 物質理工学院 | 18人 | | 20人 | 20人 | 20人 | 20人 |
| | 情報理工学院 | 6人程度 | | 6人 | 14人 | 6人 | 14人 |
| | 生命理工学院 | 15人 | | 15人 | | 15人 | |
| | 環境・社会理工学院 | 17人 | | 20人 | 9人 | 20人 | 9人 |
| 学校推薦型選抜 | 理学院 | 8人 | 8人 | | | | |
| | 生命理工学院 | | | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| 合計 | | 98人 | 118人 | 58人 | | 101人 | 143人 |

※ 2024年4月入学の工学院の総合型選抜と理学院の学校推薦型選抜は2023年4月入学と同じ選抜。 13

- 理学院・工学院への一般枠追加に伴う修正

更新履歴 (p.14)

(2022年11月公開版から2023年4月版の更新)



更新前

理学院



募集人員 151人

2025年4月入学から

| | |
|-------------------------------|------------|
| 一般選抜 | 128人 (15減) |
| <small>新設</small> 総合型 (女子枠) | 15人 (15増) |
| <small>継続</small> 学校推薦型 (一般枠) | 8人 (±0) |

- 学院の多様性を広げるために女子枠の総合型選抜を開始
- 理学を学ぶために必要な基礎学力を重視
- 数学、物理、化学の学力と面接で評価

更新後

理学院



募集人員 151人

2024年4月入学まで

2025年4月入学から

| | | | | |
|-------------|------|---|-----------------------------|------|
| 一般選抜 | 143人 | → | 一般選抜 | 128人 |
| 学校推薦型 (一般枠) | 8人 | | <small>新設</small> 総合型 (一般枠) | 8人 |
| | | | <small>新設</small> 総合型 (女子枠) | 15人 |
| | | | <small>一般枠と女子枠の併願不可</small> | |

- 学院内の多様性を広げるため学校推薦型を廃止し、その趣旨を継承した総合型の一般枠を新設
- 一般枠では、理学における傑出した能力を示す活動実績を評価
- 一般枠では出願時に希望した系に所属することが可能
- 女子枠では、理学を学ぶために必要な基礎学力と論理的思考力、およびそれらを表現する能力などを評価する

• 理学院の一般枠追加に伴う変更

更新履歴 (pp.15-16)

更新前

理学院の総合型 (新規)

新規 女子枠のみ：15人

2025年4月入学から

第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う)

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

第2段階選抜

| | |
|------------|--|
| 学力評価 (90点) | 数学 (「数学III」を主な出題範囲とする筆記試験。30点) 物理 (共通テストの結果で代用する。30点) 化学 (共通テストの結果で代用する。30点) |
|------------|--|

| | |
|----------|---|
| 面接 (10点) | 理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。 |
|----------|---|

11

理学院の学校推薦型 (変更なし)

変更なし 一般枠のみ：8人

それぞれの高校は2名まで推薦可能 (以下の要件3については人数制限なし)

推薦要件

以下のいずれか

1. 理学に関連した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれを発表した者
2. 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げた者
3. 数学、物理、化学、地学のいずれかの国際科学オリンピックの日本代表。または国内予選で優秀な成績を取った者

主な出願書類

- 研究内容の要約 (要件1か2の場合のみ)

選抜方法

- 共通テストの成績、推薦書、研究内容の要約、並びにその他の出願書類を総合的に評価し、合格者を決定

12

(2022年11月公開版から2023年4月版の更新)

更新後

理学院の学校推薦型

2024年4月入学まで

募集人員：8人

それぞれの高校は2名まで推薦可能 (以下の要件3については人数制限なし)

推薦要件

以下のいずれか

1. 理学に関連した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれを発表した者
2. 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げた者
3. 数学、物理、化学、地学のいずれかの国際科学オリンピックの日本代表。または国内予選で優秀な成績を取った者

主な出願書類

- 研究内容の要約 (要件1か2の場合のみ)

選抜方法

- 共通テストの成績、推薦書、研究内容の要約、並びにその他の出願書類を総合的に評価し、合格者を決定

15

理学院の総合型 (新規)

新規 2025年4月入学から

一般枠：8人

第1段階選抜 約1.5倍を上限とする

共通テスト (得点合計) と出願書類で選抜を行う

- 共通テストの成績により、基礎学力を判定する。
- 活動実績報告書の内容を重視する。

第2段階選抜

面接 (100点)

志望者の活動実績報告書*に関する質疑応答に基づき、理学に対する適性・素養・説明能力を評価する。

*活動実績の例

- 授業科目の一環として実施した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表
- 理学に関連した研究を、主導的な役割を担って行い優れた成果を挙げ、それをとりまとめて複数の所属組織からの参加者がいる研究会などで研究発表
- 国際科学オリンピック、その国内予選相当の大会に出場し優秀な成績

女子枠：15人

第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う)

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

第2段階選抜

学力評価 (90点)

| |
|--------------------------------|
| 数学 (「数学III」を主な出題範囲とする筆記試験。30点) |
| 物理 (共通テストの結果で代用する。30点) |
| 化学 (共通テストの結果で代用する。30点) |

面接 (10点)

理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。

16

• 理学院の一般枠追加に伴う変更

更新履歴 (p.17)

(2022年11月公開版から2023年4月版の更新)



更新前

工学院



2025年4月入学から

募集人員 348人

| | |
|-----------------------------|------------|
| 一般選抜 | 278人 (36減) |
| <small>変更</small> 総合型 (女子枠) | 70人 (36増) |

- 新しい総合型は、女子学生を対象
- 面接と共通テストを半々で評価
- 個別試験では筆記試験は行わず、共通テストを利用
- 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために本学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載

13

更新後

工学院



募集人員 348人

2024年4月入学まで

| | |
|------|------|
| 一般選抜 | 314人 |
| 総合型 | 34人 |

2025年4月入学から

| | |
|-----------------------------|------|
| 一般選抜 | 261人 |
| <small>新設</small> 総合型 (一般枠) | 17人 |
| <small>新設</small> 総合型 (女子枠) | 70人 |

一般枠と女子枠の併願不可

- これまでの総合型を廃止し、一般枠と女子枠を新設
- 一般枠、女子枠ともに筆記試験は行わず、面接で物理や数学に関する能力を評価
- 一般枠では、加えてこれまでの授業や自主的な学習、国際経験等を通して最も興味を持った理数系トピックを踏まえて工学院で学びたいことを問う
- 女子枠では、「女性活躍社会に貢献するために工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を問う

17

- 工学院の一般枠追加に伴う変更

更新履歴 (pp.18-19) (2022年11月公開版から2023年4月版の更新)

更新前

工学院の新しい総合型

女子枠のみ：70人

2025年4月入学から



第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う) 現行は約2~3倍

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

第2段階選抜

総合問題 (面接) (100点)

女性活躍社会に貢献するために本学工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機、与えられた物理や数学 (数学Ⅲを含む。) のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

※ 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために東京工業大学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載。

共通テスト (100点)

得点合計で評価

※現行で行っている総合問題の筆記試験は行わない

14

更新後

工学院の現在の総合型

2024年4月入学まで

募集人員：34人

第1段階選抜 (約2~3倍を超えた場合行う)

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

第2段階選抜

筆記

数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設問により、論理的な思考力、解決力および記述力を評価する。

面接

工学分野に対する志望動機、与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

18

工学院の新しい総合型

新規 2025年4月入学から

一般枠：17人

第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う)

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

一般枠では数学、理科、外国語のみを1.5倍に換算し合計する。
理科2科目の選択に「物理」を必ず含めること。

第2段階選抜

総合問題 (面接) (100点)

これまでの授業や自主的な学習、国際経験等を通して最も興味を持った理数系トピックを踏まえて工学院で学びたいことを含めた志望動機、並びに与えられた物理や数学 (数学Ⅲを含む。) のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

女子枠：70人

第1段階選抜 (約1.5倍を超えた場合行う)

共通テスト (得点合計) で選抜を行う
女子枠ではすべての科目を素点のまま合計する。

第2段階選抜

総合問題 (面接) (100点)

女性活躍社会に貢献するために工学院で学びたいこと、および自身の将来像をふまえた志望動機、与えられた物理や数学 (数学Ⅲを含む。) のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

※ 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために東京工業大学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載。

共通テスト (100点)

得点合計で評価

19

- 工学院の一般枠追加に伴う変更

更新履歴 (p.25) (2022年11月公開版から2023年4月版の更新)



更新前

生命理工学院の新しい総合型

一般枠のみ：15人

2024年4月入学から



第1段階選抜 (約2倍を超えた場合行う) 現行は約2~3倍

共通テスト(得点合計)と出願書類で選抜を行う

第2段階選抜

総合問題(100点)

筆記 生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力及び記述力を評価する。

面接 生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力及び適性を評価する。

変更点

共通テスト(50点) 現行では用いていない共通テストが第2段階選抜の評価に加わる

数学を20点、理科を20点、外国語を10点に換算

20

更新後

生命理工学院の新しい総合型

一般枠のみ：15人

2024年4月入学から



第1段階選抜 (約2倍を超えた場合行う) 従来は約2~3倍

共通テスト(得点合計)と出願書類で選抜を行う

第2段階選抜

総合問題(100点)

筆記 生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力および記述力を評価する。

面接 生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力および適性を評価する。

変更点

共通テスト(50点) 従来用いていなかった共通テストが第2段階選抜の評価に加わる

数学を20点、理科を20点、外国語を10点に換算

(2025年4月入学からは、上記に情報を10点に換算したものを加え、配点を60点とする)

25

- 科目「情報」の取り扱いを反映

更新履歴（その他）（2022年11月公開版から2023年4月版の更新）

- 以上のほか、全体に軽微なテキスト、レイアウト、スタイルの修正を行った。